

小売業における 安全衛生対策事例



長崎県小売業＋SAFE協議会

(丸高商事株式会社 早岐店)

(事業場概要)

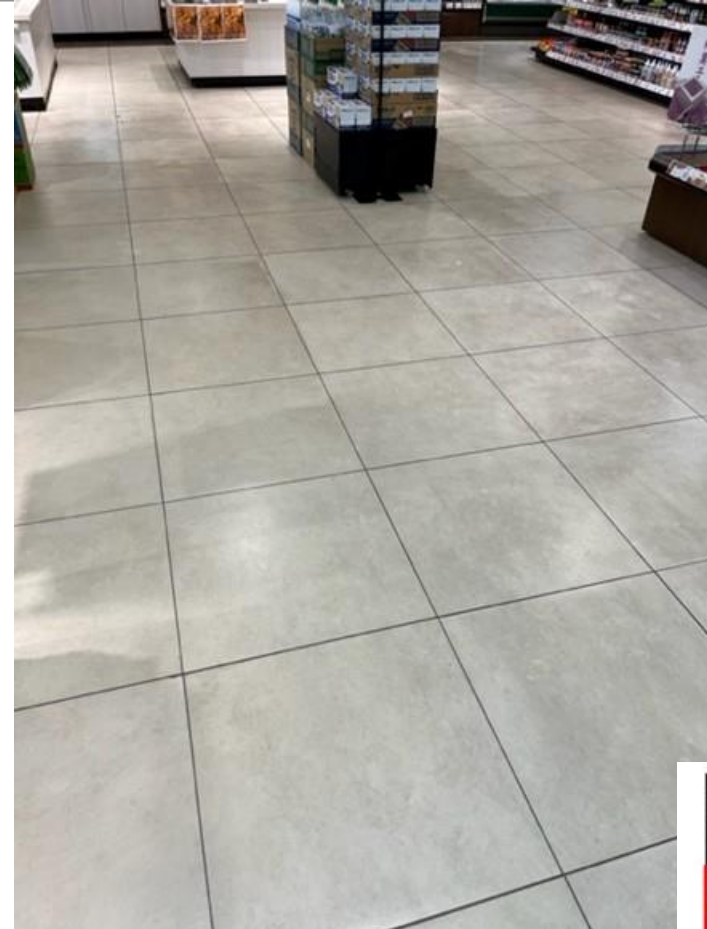
- ・労働者数: 68名
- ・店舗設置時期: 平成12年10月
(令和2年7月に全面改修)
- ・法人設立時期: 昭和22年11月
- ・店舗数: 長崎県下に19店
- ・法人全体の労働者数: 1,092名(令和5年4月現在)
(社員265名、パート・アルバイト827名)
(男性363名、女性729名)



(転倒対策 事例1)

・店内のフロアが水濡れを含め滑りにくい構造の床となっています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



(転倒対策 事例2)

・業者に委託し、マットを2週間おきに交換し、マットの端をテープでとめています。これにより、マットがずれたり、めくれることがなく、転倒防止措置として有効に機能しています。マット交換はお客様が利用する店内のフロアや職員のみが利用するバックヤードなど全面的に行っています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



(転倒対策 事例3)

・バックヤードや店内に清掃用具を設置し、床面が濡れるとすぐに対応できるようにしています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

(レジ横の清掃用具)



(バックヤードの清掃用具)



(転倒対策 事例4)

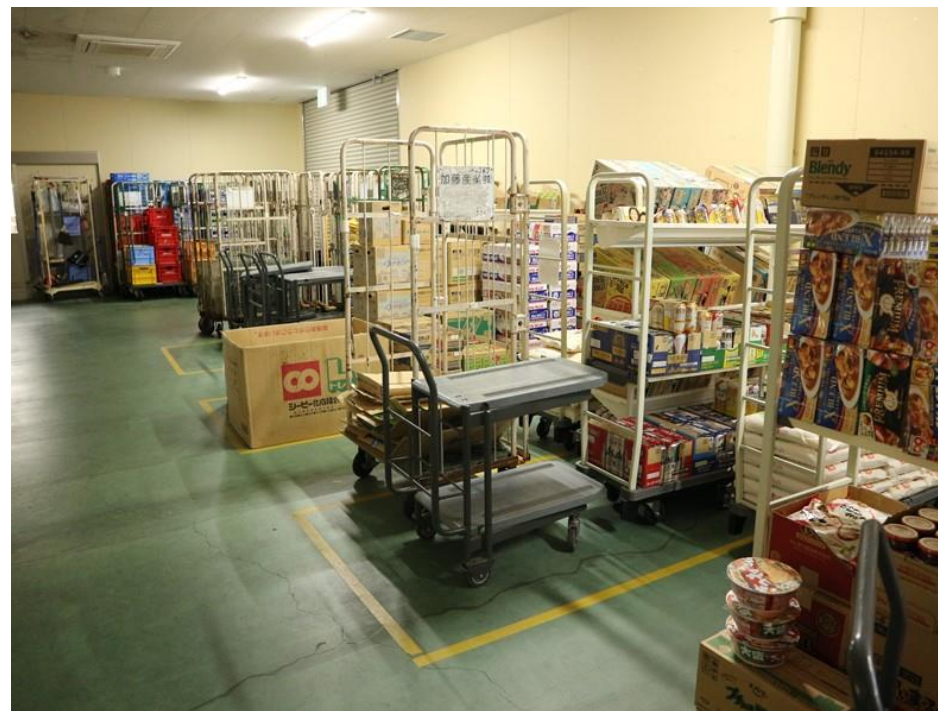
・冷凍庫内において床面が霜となり滑りやすい箇所は物的対策が難しいため、「転倒注意」のステッカーを貼り、関係労働者に注意・喚起を促しています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



(転倒対策 事例5)

・バックヤードの台車置き場については黄色テープで場所を示し、整理・整頓に努めています。



* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

(転倒対策 事例6)

・鮮魚部門においては滑りやすいため、耐滑性の長靴を使用しています。(現在、総菜、精肉部門についても耐滑性の靴を試験的に支給し、全店舗に導入することを検討しています)

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



(転倒対策 事例7)

・鮮魚部門、精肉部門、総菜部門は滑りやすい状態のため、耐滑性の床に変更しています。



* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

(転倒対策 事例8)

・バックヤードの消火設備です。赤色灯の部分の凸部が少なく、台車との接触リスクが低い構造となっています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



(転倒対策 事例9)



・手押し台車について、ダンボールを挟み込める構造となっており、商品陳列する際に床にダンボールを置かず、作業することができます。(周囲の労働者やお客様が段ボールの上の乗り、転倒することを防ぎます。)

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



まるたか
生鮮市場

(転倒対策 事例10)



- ・手押し台車に乗せる商品の高さは、目線より下の位置までとし、前方へ押しながら移動させています。(前方押しが体重をかけ、楽に移動できるため)



* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

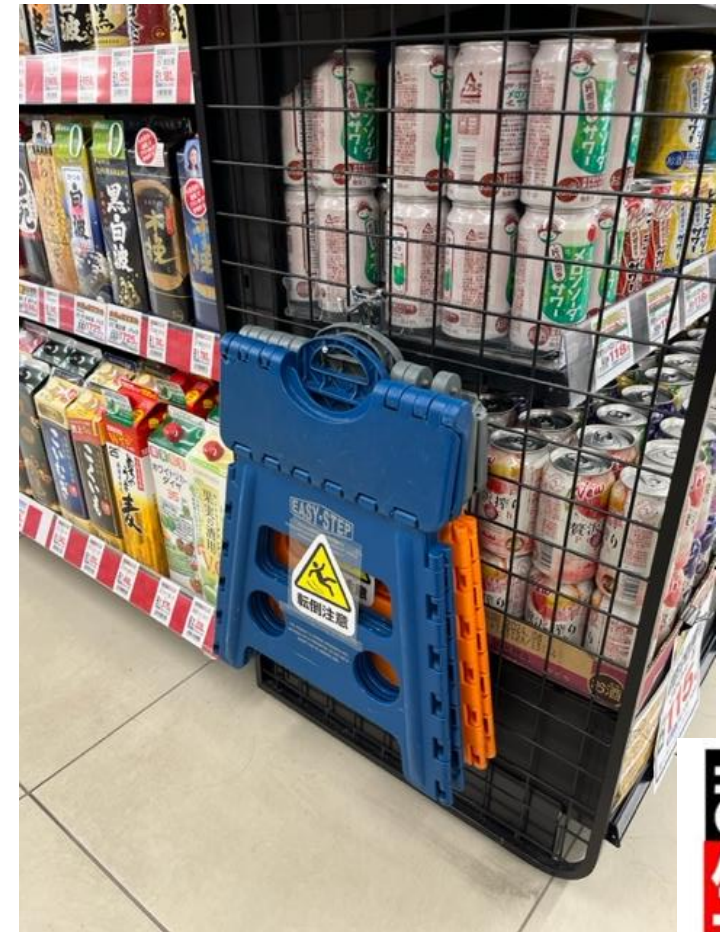


(転倒対策 事例11)



・商品の陳列や在庫を棚の上部に置く際に踏み台(右図写真)を使用しています。踏み台については、お客様が不用意に使用することがないように、また労働者やお客様が踏み台で躓くことがないように折りたたみ式のものを採用しています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

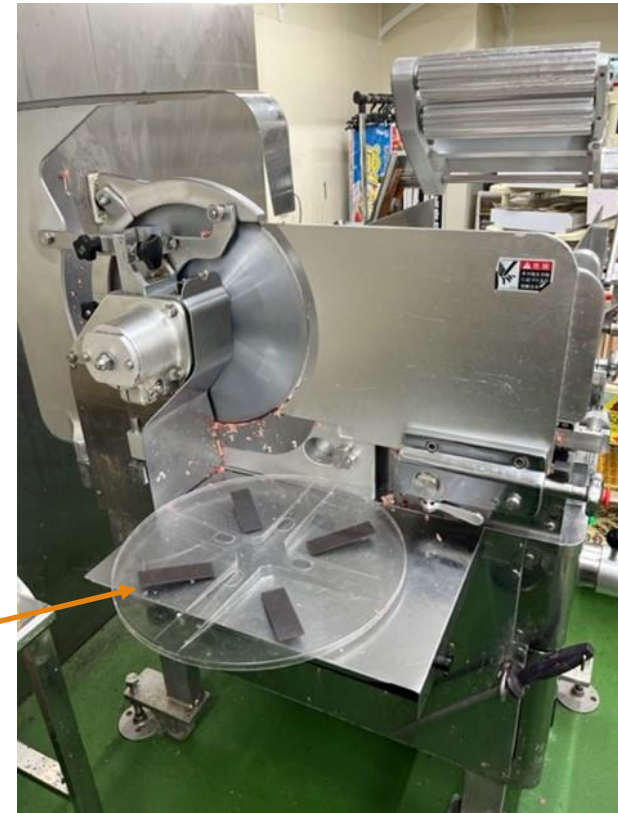


(切創防止 事例1)

・精肉部門のスライサーです。清掃時など切創防止のため、カバーを設けています。

刃のカバー

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



(切創防止 事例2)

・精肉部門、鮮魚部門においては包丁を扱うため、切創防止用のエプロンを着用し、作業を行わせています。



* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

(労働災害発生後の取組)

① 労働災害が発生



② 店長、部門長及び関係者で状況確認



③ 右図様式で店舗は本社へ報告



④ 報告を受けた本社は各店舗へ水平展開

社長	専務	常務	店舗運営部長	商品部長	受付者(総務)

事故報告書 (第1報・完了報告)

令和 年 月 日

店名			報告者		
発生日時	令和 年 月 日 ()	AM・PM	時	分	秒
種別	火災・人身事故・物損事故・盗難・食中毒・脅迫・暴行 商品事故・金銭事故・建物、設備の事故・風水害・その他				
発生場所					
発生理由					
加害者	氏名:	(男・女)	氏名:	(男・女)	
	(社員・取引先・お客様) 年齢:	(指定)	(社員・取引先・お客様) 年齢:	(指定)	
	住所:		住所:		
	Tel:		Tel:		
被害状況					
対応状況	(いつでも・誰が・どのように対応したか、詳しく書くこと)				
継続的対応(要・不要)	具体的な対応策				
示談年月日・内容	令和 年 月 日				

(挟まれ・巻き込まれ防止 事例)

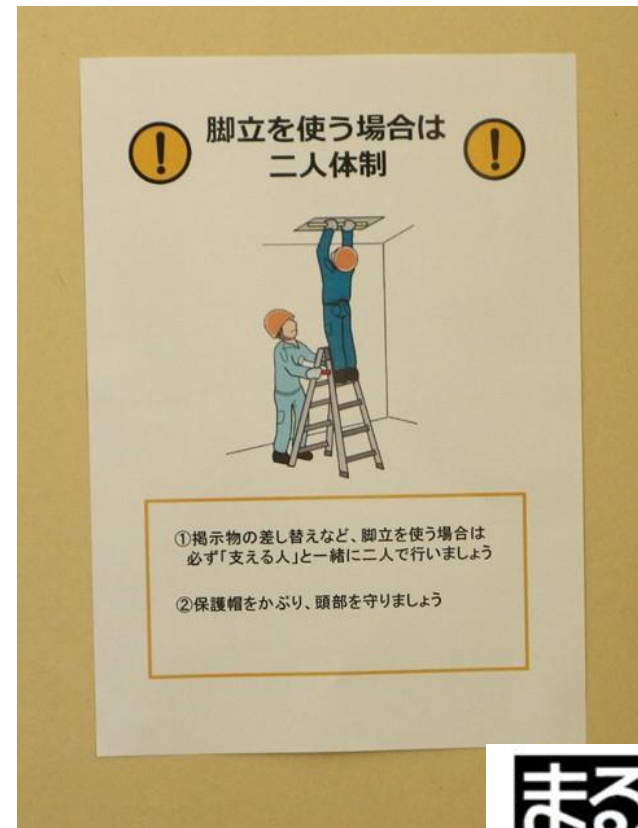
精肉部門のミンチ機です。肉投入部の上方にプロテクターを設置し、最後肉を押し込む時は、専用の棒(肉押し棒)を使用するよう写真付きで使用喚起しています。



* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
 (丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

(墜落防止 事例)


バックヤードに脚立置き場があり、壁面に右写真の注意書きがされ、注意・喚起が図られています。(脚立作業の際は保護帽の着用を義務付けています)



* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影

(本社の取組事例1)

・各店舗で発生した労働災害を分析し、災害が多発している場合は、ポスターを作製し、店舗内に掲載するよう指示し、関係労働者に対し、注意・喚起を図っています。



労働災害に注意

労働災害が、多発しています。
労働災害防止のためには、ひとりひとりの心掛けが大切です。
全従業員が気をつければ、労働災害は減少します。
安全を第一に考え、健康に過ごしましょう！！

過去半年間に起こった労働災害

発生日	店舗	部門	内容	詳細内容	
R.2.11.10	■	ベーカリー	電動スライサーでの創傷	ベーカリー作業場にて電動スライサーで食パンをスライスしていたところ、切った食パンを受け取るための左手の親指を誤ってスライサーの刃で切った。	裂傷のみ
R.2.11.11	■	惣菜	包丁での創傷	惣菜作業場にてこんにやくの入った袋を開けようとした際に、包丁で誤って左手の人差し指を切った。	4針縫う
R.2.11.12	■	鮮魚	通勤災害	帰宅途中スクーターで急ブレーキをかけた時、マンホールで滑り転倒、右足の膝を打ちつけて打撲した。	全治10日の打撲
R.2.12.9	■	惣菜	通勤災害	出勤途中車でカーブを曲がりきれず、ガードレールに追突し打撲。	外傷なし
R.2.12.17	■	精肉	作業場内転倒	精肉作業場内にて、床清掃中に洗剤の泡で滑り転倒。転倒した際に身体を支えようとして右手を強打。	打撲により患部腫脹
R.2.12.31	■	鮮魚	通勤災害	出勤途中、徒歩で歩いていた所、横断歩道で止まった際に左足を滑らせて転倒。転倒時に右手をついた。	右手首骨折
R.3.2.4	■	惣菜	台車で胸を強打	惣菜作業場にて、段ボールを載せた台車で出入口のスイングドアを強引に押し開けたところ、反動で戻ってきたスイングドアが台車に当たり左胸の上部を強打。	左胸肋骨骨折
R.3.2.15	■	ベーカリー	ハサミでの創傷	ベーカリー作業場にて、商品詰め用の袋をハサミで切っていたところ、誤ってハサミで左手人差し指を切った。	裂傷のみ
R.3.2.24	■	青果	フロアでの転倒	青果作業場から店内に商品を持って出た際に、床が水で濡れていた為足を滑らせ転倒、左膝から床についた。	左足半月板損傷
R.3.3.29	■	鮮魚	包丁での創傷	鮮魚作業場にて、鯛の切身を製造中に包丁で誤って、鯛を抑えていた左手の人差し指を切った。	裂傷のみ
R.3.3.30	■	鮮魚	包丁での創傷	鮮魚作業場にて、切身を製造中に包丁で誤って、魚を抑えていた左手の親指を切った。	裂傷のみ
R.3.4.20	■	青果	バックヤードでの打撲	青果トラックから荷卸し中に多数の段ボールを持ち運んでいたところ、コンテナの角で右足の脛を強打。	静脈を傷つけ血液が溜まり患部が腫脹 全治1週間

！すぐに報告しましょう！
 ※労働中にけがをした際は、隠さずすぐに報告⇒悪化したり、労働中のけがだと証明が難しくなります。
 ※労災申請した際に、転院等した場合はすぐに報告⇒別途書類が必要になります。

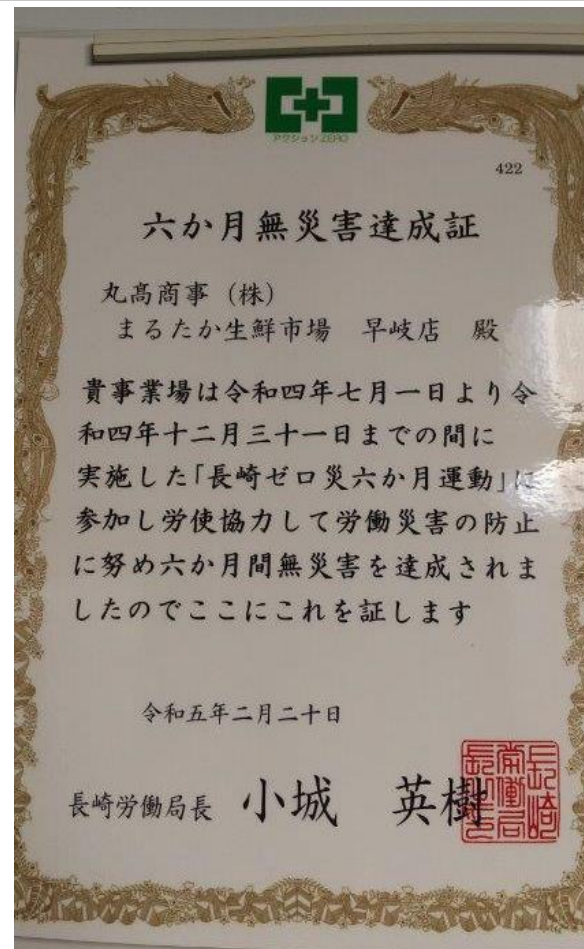
令和3年4月 人事部



(本社の取組事例2)

(長崎ゼロ災運動について)


長崎労働局の展開する自発的な労働災害防止の取組である「長崎ゼロ災運動」に19店舗全て毎年、参加しており、災害目標(6か月間無災害)及び独自目標を達成した店舗は労働局から送付された「無災害達成証(右写真は早岐店)」を掲示し、安全衛生意識の向上を図っております。



(本社の取組事例3)

(SAFEコンソーシアム)

厚生労働省が提案するSAFEコンソーシアムでは事業場登録(任意)を行い、自律的な安全衛生取組を専用のポータルサイト内で紹介するものです。丸高商事(株)はSAFEコンソーシアムに登録し、事業場情報を発信するとともに他の加盟メンバーの安全衛生取組状況の把握に努めています。




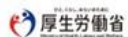
みんなの安全を、
みんなで守り合う。


SAFE

コンソーシアム
— TEAM GOOD SAFE —

“SAFEコンソーシアムについて”
全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

SAFEコンソーシアムポータルサイト → 

 厚生労働省

 SAFE
Safety
Action
for
Employment

事業場登録済みの安全アクション「SAFE」のポータルサイト、登録コンソーシアム各事業場を掲載するポータルサイトです。

まるたが
生鮮市場

(快適職場の形成の事例1)

・休憩室には、テレビ、新聞、電子レンジ、流し台、ポットなどがあり、休憩時、過ごしやすい環境を整えています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影



(快適職場の形成の事例2)

(体重計)



(血圧計)



・休憩室には、体重計、血圧計を備え付けており、従業員へ健康確保のため使用を勧奨しています。

* 長崎県小売業プラスSAFE協議会構成員
(丸高商事株式会社早岐店)にて写真撮影